

■参加者 41 名

■当日の主な質疑等

| | |
|--|---|
| <p>【南横山校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小中一貫校としての連続性、小学校、中学校が分離している非連続性、いずれにも長所、短所があると思うが、小中一貫校の連続性の長所のみを説明しているように聞こえた。中一ギャップだけでなく高一ギャップのほうが発達心理学的にもインパクトがある。 後期課程が前期課程の面倒を見るというのも一つの利点であるが、これまで高学年が低学年の面倒をみていた場が損なわれるのではないかというような短所もきちんと説明していただきたい。デメリットも認識し、その対応を考えるべきである。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ メリット、デメリットはありますが、デメリットの部分として6年生のリーダーシップをどう確保していくかということについては、異学年交流する中で改善策をお示しできると思いますし、今後に向けてそのようなことも踏まえながら取組みを検討していきたいと考えます。 |
| <p>【特認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移行期に関する、工事中的子どもたちへの影響や現在特認で通っている中学生のバス利用について、質問や要望をあげたことがあるが、そのことに関して今日の資料には何も書かれていないし、説明もなかった。小中一貫校になる前に榎尾中学校で特認制度を導入するなど、移行期に関してもしっかりと考えたほうがよいのではないかと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 移行期のことについては、これまでもご意見をいただいておりますので、開校準備委員会の中で議論していきたいと考えます。 |
| <p>【横山校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小中一貫校になると、小学校高学年の子を中学生がいじめるといったようなことが起こらないか。大阪府下の小中一貫校でいじめがあったというようなことは今までにないのか。 生活指導の先生を充実していただきたい、生徒一人ひとりに目を配っていただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめはどこにでも起こりうるということを全ての学校に周知し取り組んでいるところです。 この校区においても、いじめが起こらないということはありませんが、小中一貫校になることで、より多くの指導する立場の人が子どもたちに関われるというメリットを活かしていきたいと考えます。 |
| <p>【横山校区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの言葉づかい等から、学校の日頃の指 | <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめについては、子どもたちの心をいか |

導が行き届いていないのではないかと感じる。
南松尾はつが野学園の良い所は参考にしながらも、市内で2校目となる一貫校では、これまでにない新しい取り組みをしていただきたい。
いじめ対策についても、高学年の生徒が低学年の生徒をやさしく見るという性善説ではなく、万が一のことを考えて、専任の人、教師に限らなくても、警察のOBを置くなどで、子どもを安心して任せられる学校ということを特徴付ければ、市内から特認制度で通っていただける方も増えると思うので、引き続き検討をお願いしたい。

- 横山小学校のあと地については、横山校区、南横山校区町会長の連名で要望書を市長あてに提出し、回答をいただいているが、温暖化の影響で屋外のプールは使えないというのが時代の流れだと思うので、地域活性化にも繋がるよう、全天候型のプールをつくっていただきたい。民間に運営を委託するなど、市の財政負担も押さえつつ、学校だけでなく地域でも利用していただける施設をつくることを検討いただきたい。

【横山校区】

- 特認校ということで、教育方針が非常に大事になってくると思う。個人的に興味を持った教育方針をだしている学校があったので紹介させていただきたい。
千代田区立麴町中学校の校長の著書で、子どもたちが自ら考え、自ら判断し、自ら決定し、自ら行動する資質、即ち自立する力を身につけていく必要があるという観点からその取り組みの一環として、宿題をなくす、クラスの担任制を廃止する、中間・期末テストを廃止するといったダイナミックな改革をし、ある一定の成果を収めているとのこと。
子どもたちが自分自身で自分達の行動がどんな影響を及ぼすのか考えられるようになれば、間接的にいじめを減らすことにも繋がるのではないかと思うので、こういう特色も検討いただければと思う。

に育て、いじめが発生しない指導、教育をしていくかが大切だと思いますので、この地域の特性も踏まえながら取り組んでまいります。

- 横山小学校のあと地は市街化調整区域となりますので、民間事業者がプールを建てることは難しいのですが、公設で建てることの可能性はあります。しかしながら、現在のところ、市で公設プールの設置予定はありません。
あと地活用については、民間を活用し、地域の活性化に繋がるよう今後検討していきたいと考えます。
- この地域に新たに義務教育学校をつくるにあたり、今までの思い込みだけではなく、教育の不易流行ということで、不易とは何か、流行とは何かをしっかりと踏まえた上で地域とともにある学校となるように議論していきたいと考えます。

【横山校区】

- 子どもたちの通学の安全を第一に考えていただくようお願いしたい。
榎尾中学校南交差点では、岸和田方面からの長い下り坂でスピードが出て、大きな事故も過去に何度かある。
大阪府への要望は出し続けると思うが、何らかの対応、対策を明確にさせていただきようお願いしたい。

【特認】

- 以前のアンケート結果では、賛成意見が多いと表記されていたが、回収の分母が小さく、特認保護者に生の声を聞くと、思いを持って遠方から南横山小学校まで通わせているので、なくなってしまうのは残念というのが本当のところである。小中一貫校となることが決まってしまったので、よい学校になるようにしていきたい。
- 学校開校準備委員会に専門家の方が入っていない。学識経験者の方や、南横山小学校の特認校立ち上げ時の校長先生や教頭先生をメンバーに入れていただきたい。
特認校を成功させるためには、南横山小学校の素晴らしい環境を使った定期的な学びは必要であり、市内の他の学校の子どもたちも時々使えたらよいと思う。
地域の方や保護者が関わる行事が多く、授業だけではない、生の経験を通した学びができており、そこを残すことも検討していただきたい。

- 通学の安全については、適正就学対策審議会でも議論され、課題として認識しておりますので、開校に向けてしっかり準備していきたいと考えます。

- 以前のアンケートにおいても、特認制度で通われている保護者の方々のご意見も理解しています。
南横山小学校の自然環境で学ばせたい、学びたいという方々に通っていただいていますので、新しい施設一体型義務教育学校になっても、市内からたくさんの方々に通っていただけるような魅力ある学校をつくっていきたいと考えます。

- 南横山小学校の特認立ち上げ時の経験豊かな管理職の先生方のご意見もいただきながら検討していきます。